

平成 21 年 4 月 27 日現在

研究種目：特定領域研究

研究期間：2006～2011

課題番号：18078006

研究課題名（和文） 環境ガバナンスを支える民主主義の理念と制度の研究

研究課題名（英文） A Study of Ideas and Institutions of Democracy for Environmental Governance

研究代表者

足立 幸男 (ADACHI YUKIO)

関西大学・政策創造学部・教授

研究者番号：10091092

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・政治学

キーワード：持続可能な発展、重層的環境ガバナンス、将来世代、民主主義、NPO/NGO、市民運動、環境法、環境政治

1. 研究計画の概要

ローカルからグローバルまでの社会の様々なレベルで発生する環境問題を巡っての紛争は関係者・当事者間の利害や価値観の深刻な対立を不可避的に内包するものであるだけに、その「解決」は一般に民主主義の政治手続による妥協や調整という形をとるし、またそのようなものであらざるを得ない。その意味で環境ガバナンスは民主主義の政治過程を前提にして初めて成立し得るのであるが、この環境ガバナンスにおいては、民主主義の「病理」（社会の複雑化や科学技術の進展に伴う専門家支配のリスク、特権的利益団体の不相応に大きな政治的影響力、NIMBY、政治的決定に加わることができないヒトやモノの「利益」への十分な配慮の欠如、など）がひとときわ尖鋭に顕れる。本研究は、民主主義の「病理」を直視・分析し、その克服のためにこれまでに提起されてきた多種多様な処方箋が、環境ガバナンスの観点からみてどこまで有効であるかを実証的に検証するとともに、堅牢な環境ガバナンスの構築を可能ならしめる民主主義の理念と制度のありようを探求しようとするものである。

2. 研究の進捗状況

上記の研究目的を達成するため、①先行文献の分析・評価、②様々なレベルや種類の環境問題に取り組んできた内外の政治家、行政職員、NPO/NGO 主宰者等への聞き取り調査、③（内外の）環境ガバナンスの成功事例と失敗事例の調査・分析、④計 2 回程度の国際シ

ンポジウム、⑤他の研究班との共同研究会や班独自の研究会、等を精力的に実施し、その中間的研究成果を平成 20 年度末までにアクセスの容易な市販の研究書として刊行し、さらに平成 21 年度以降はテーマを一層絞り込んだ、そして制度や政策のありようについての具体的な提言を目指す共同研究を実施し、その成果を平成 23 年度末までに英文論文集として刊行する——以上が、当初計画書（平成 18 年度発足特定領域研究 持続可能な発展の重層的環境ガバナンス）に記載した研究計画の概要である。

（1）中間的成果については当初 1 冊の研究書として刊行の予定であったが、内容の充実を期すため、①持続可能な発展の重層的環境ガバナンスに資する民主主義の理念と制度のありようを理論的に検討・考察しようとする研究書と、②環境ガバナンスの国際比較を通して、環境ガバナンスと民主主義の関係（どのような民主主義の下でどのような環境ガバナンスが展開されているか）を実証的に検討・解明しようとするものの、二本立てで取り組むこととなった。①については本年 1 月末に出版社に入稿済みであるが、②については刊行が半年ほどずれ込む予定である。

（2）英文論文集については、環境ガバナンスにおける専門家の役割に着目して分析・考察を行うことになり、本格的研究に着手したところである。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
（理由）

追加的に刊行することとなった比較環境ガバナンス関連の研究書の刊行が若干遅れていることを除けば、当初計画していた事業はすべて順調に実施されている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 環境ガバナンスのパフォーマンス(成功しないし失敗のレベル)を比較するための基本的な視点(基準)の提示を目指す研究書を平成21年中に刊行する。そのための最終打ち合わせを兼ねたミニ国際シンポジウムを平成21年夏に開催する。

(2) 民主主義の政策過程(より特殊的には環境ガバナンス)における専門家の役割という、世界的にもほとんど研究蓄積がないテーマにチャレンジする英文研究書を平成23年度末までに刊行することを目指して、研究会を実施するとともに、この点に特化した調査を平成21年度から平成22年度にかけて、大戸川ダムの建設是非を巡る関係アクター、諫早湾干拓を巡る紛争、EU特にドイツとアメリカを対象として、実施する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 24 件)

- ① 坪郷寛、グローバル・ガバナンスとヨーロッパ・ガバナンス、社会学年報(東北社会学会)37巻、査読有、2008年、5-16頁
- ② Makoto Usami、Global Justice: Redistribution, Reparation, and Reformation, Archiv für Rechts-und Sozialphilosophie, Beiheft 109, 査読有, 2007, pp. 162-169.

〔学会発表〕(計 40 件)

- ① Junichi Nagamine, Watershed Governance in Making River Plan: The Public Choice Viewpoint, The Korean Association for Public Administration International Conference, 17 October 2008, Hotel-Seoul KyoYuk MunHwa, Korea.
- ② Yukio Adachi, How to Cope with Low-probability Risks of Large-scale Catastrophes?, 2008 TASPAA (Taiwan Association of Public Administration and Affairs) International Conference on Collaborative Partnership for Sustainable Development, 24 May 2008, Taichung University in Taiwan.

〔図書〕(計 17 件)

- ① 足立幸男(編)、ミネルヴァ書房、持続可能な未来のための民主主義、2009年、印刷中
- ② 大山耕輔、慶應出版会、慶應の政治学 政治・社会、2008年、107-132頁

〔その他〕

ホームページ

<http://www.sdgovernance.org/>